

# 大路の土間 | 小路の縁側

コロナの影響により働き方が変わり、仕事が家の構成要素の一つのなり始めている今、再び職住一体の家の在り方を考える必要がある。しかし現状は、仕事場として設けられる場所は、付属品のような扱いに疑問を感じる。本計画の既存は、昔ながらの民家特有の空間の繋がりが。それを活かしながら、柔軟な住宅の在り方を模索する。

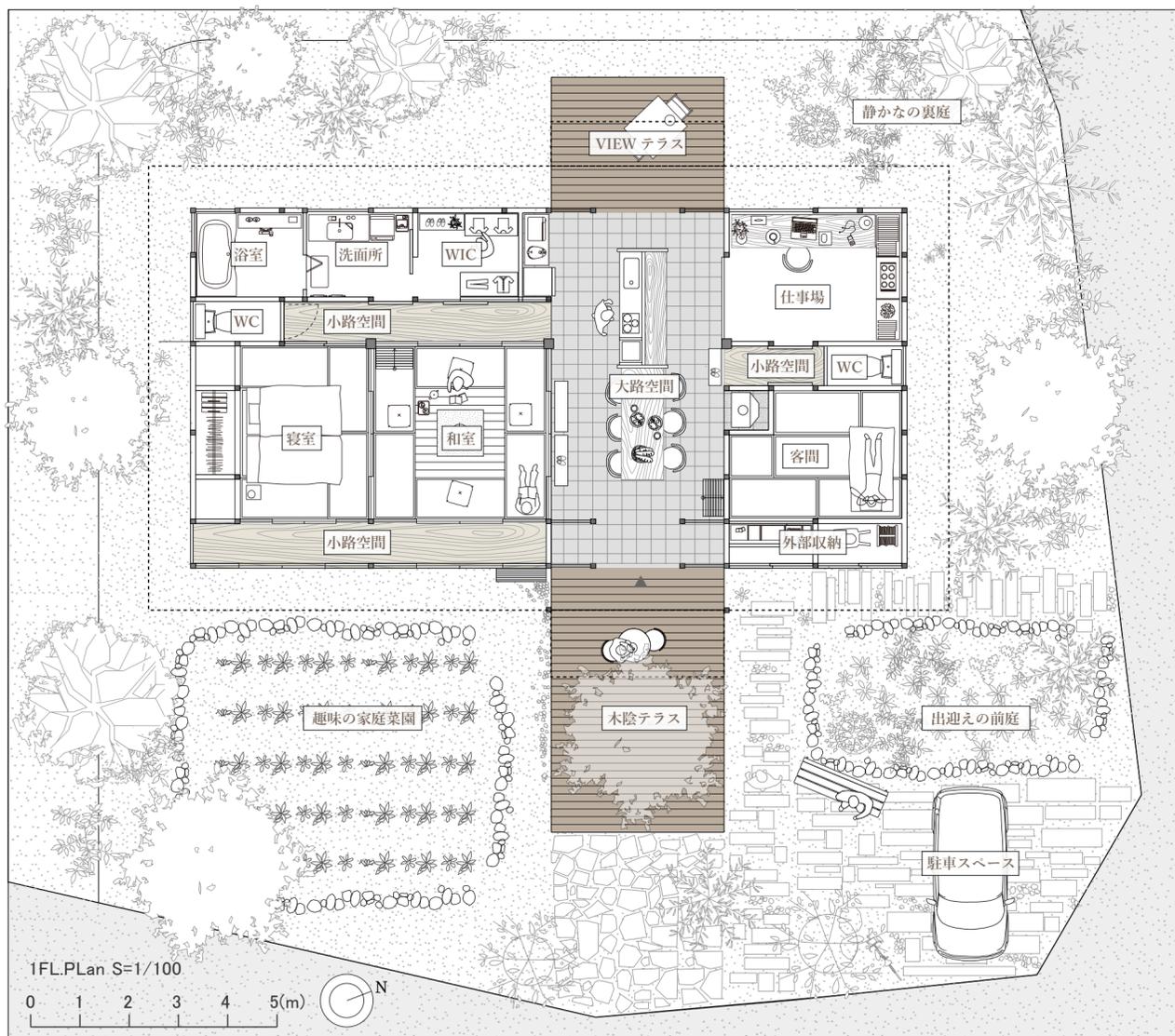


大路の土間 | 小路の縁側

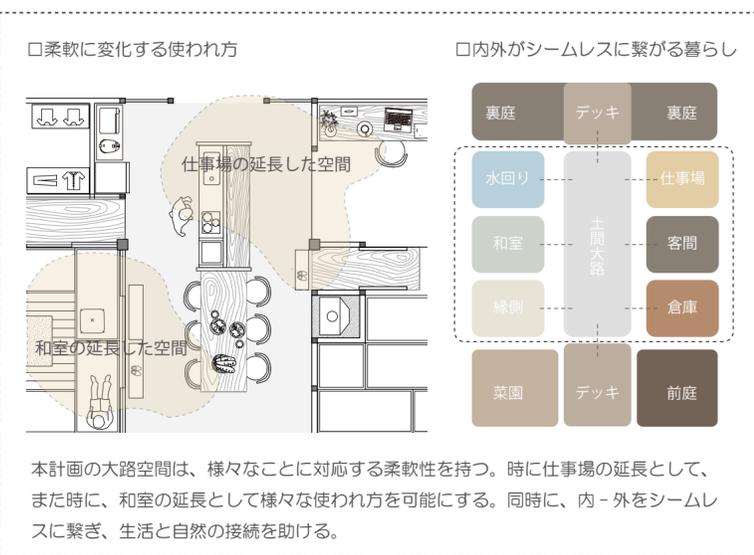
大路の土間 | 小路の縁側



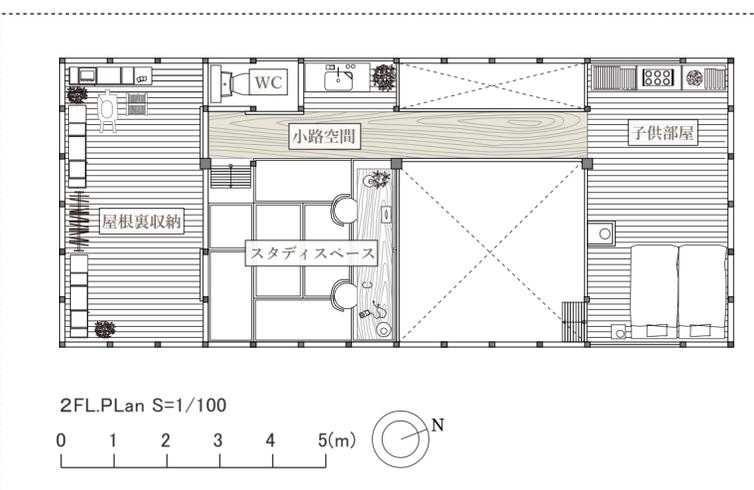
## 05 Plan 2 | 建築でつくる多様な庭と柔軟な使われ方のある空間



## 06 Detail Plan | 柔軟な使われ方のある空間



## 07 2FL Plan | 屋根裏の Scale を活かした子供の空間



## 01 Family | それぞれに興味がある家族



- 夫 (30代): アウトドア読書が趣味
- 妻 (30代): 家庭菜園が趣味
- 長女 (小学生): 手伝いに興味ある
- 長男 (幼稚園児): 外遊びが好き

家族は、子供がまだ幼い四大家族。アウトドアな面とインドアな面の二面性がある。そんな家族の暮らしのための住宅もまた柔軟に対応する必要がある。

## 02 Concept | 公私に拠り所のある家

様々な側面を持つ家族のために公私に拠り所のある家が必要だと考え、本計画では、公的な要素を含めた賑やかな大路と呼べるような道と、私的な空間を演出する静かな小路と呼べるような道の二本を家の中に織り交ぜることで、公私に拠り所のある住宅をデザインしていく。

- 01. 大路のようないろんなことが起こる道
- 02. 小路のような親密な家族だけの道

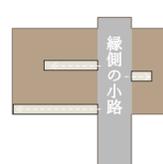
## 03 Method | 大路と小路の構成

### 大路：土間空間



家に仕事が入り込むこと踏まえ、公私が混ざり合う賑やかな大路のような土間の道を既存を生かしながら設える。

### 小路：縁側 (廊下)

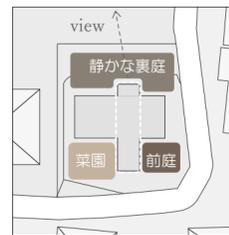


賑やかな大路の土間に対して、街の路地のようなプライベート性が高い小路を縁側 (廊下) を用いて演出する。

## 04 Plan 1 | 建築でつくる多様な庭

既存建築を活かし、緩やかに庭を分節する

本計画は既存の建築を活かしながら、余裕のある敷地に対して、菜園が趣味の母や外遊びが好きな子供の為に適度な増築を行いながら庭を緩やかに分節し、外部空間を創る。





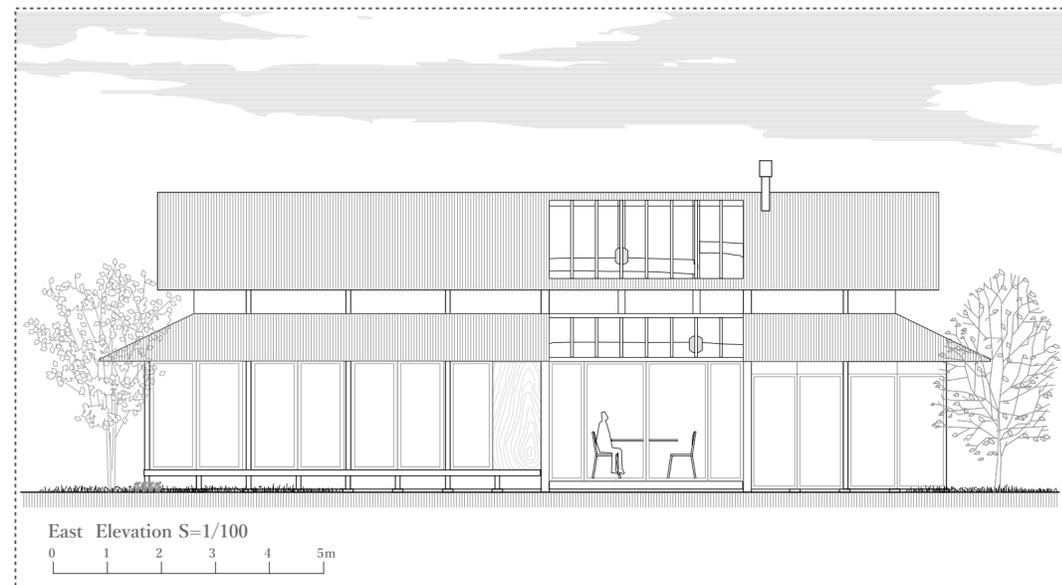
大路空間に隣接する和室では囲炉裏を囲み、話に花が咲く



夜には子供部屋から綺麗な星空を見る



トッライトから日の落ちる屋根裏空間



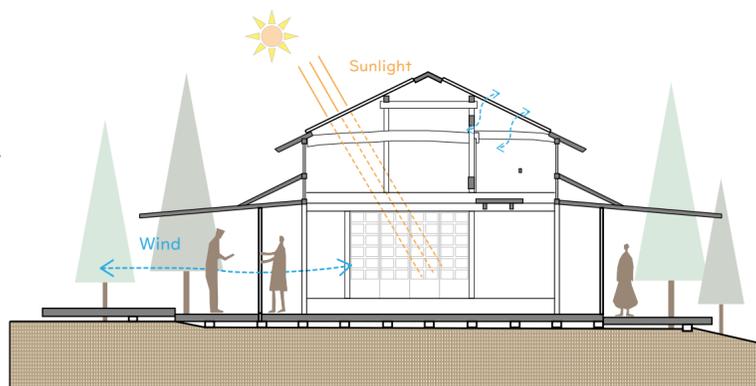
East Elevation S=1/100  
0 1 2 3 4 5m



North Elevation S=1/100  
0 1 2 3 4 5m

Section Plan | 既存建築の構造を活かした立体的な空間の繋がりと温熱環境の考慮

□自然に寄り添う温熱環境  
既存建築にトッライトをもうけ、日中、土間空間に対して適切に日の光を通す。加えて、通風を考慮し、開口の開け閉めによって快適な温度を保つ。開口部は季節に応じて昼夜で開閉コントロールし、適切な環境を維持する。



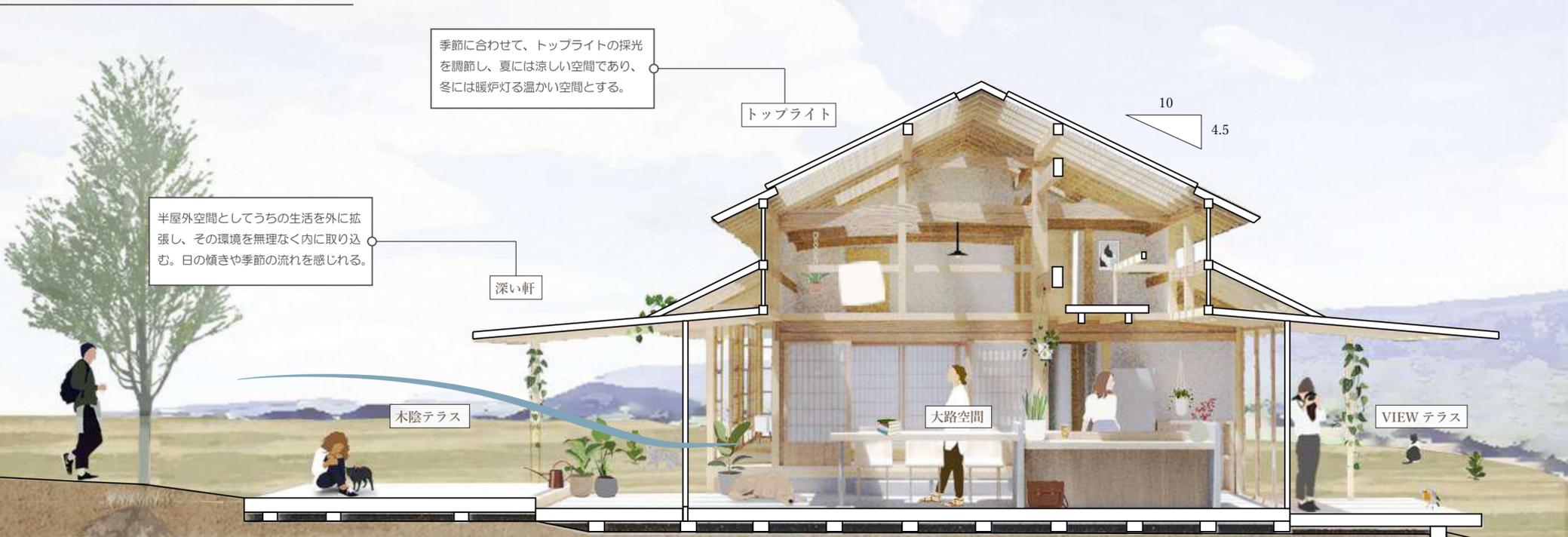
□立体的な空間の繋がり  
本計画の既存建築は昔ながらの水平方向への広がりはあるものの立体的な広がりが十分でないように感じた。そこで、大路空間を吹き抜けにすることで、立体的な活動と視線の繋がりを生む。

大路空間から上を見あげる→



大路空間から二階の子供部屋を見る

Section Plan



半屋外空間としてうちの生活を外に拡張し、その環境を無理なく内に取り込む。日の傾きや季節の流れを感じれる。

季節に合わせて、トッライトの採光を調節し、夏には涼しい空間であり、冬には暖炉灯の温かい空間とする。

トッライト

深い軒

木陰テラス

大路空間

VIEW テラス

10  
4.5